

透明な

うたかた

ガラスびんに映った近現代

10.8(土)

▶▶▶ 11.23(水祝)

休館日:10.11・17・24・31 11.4・14・21

ガラスびんの数だけ
歴史がある

展示構成

はじめに
 ① ガラスとは何か
 ② 遺跡からみつかったガラスびん
 ③ ガラスが身近になるまで
 ④ なつかしのガラスびん
 ⑤ 命をつなぐガラスびん
 ⑥ ガラスびんからみえる八戸
 ⑦ ガラスびんの現在
 ⑧ 価値の見直しSDGs

私たちのくらしの身近にあるガラスびん。食品用や薬品用などの様々な場面で使われるため、たくさん造られ、広く流通しています。

近代や現代にすてられ埋まったガラスびんは、実は縄文時代や平安時代の遺跡からもみつかることがあります。遺跡から出土するガラスびんは、経年の変化や劣化が少なく、使われた当時の姿を残しているため、貴重な文化財といえます。ガラスびんは、当時の物流や流行、製品に関する歴史を知る手がかりになり、私たちの生活文化や社会をたどる上で重要な資料になるのです。

本展示では、市内の遺跡から見つかったガラスびんや近代に使われていた様々なガラスびんを集め、私たちのくらしにどのように関わってきたのかを紹介します。

関連イベント

1. 講演会「おいしい!青森のラムネとサイダーの歴史」

日時: 11月12日(土)14時00分～

講師: 増田 公寧氏(青森県立郷土館 主任学芸主査)

対象・定員: 一般 25名(要申込/参加無料)

2. 環境学習会

「八戸のごみとリサイクル～かえってくるガラスびん～」

日時: 10月22日(土)10時00分～

講師: 八戸市環境政策課

対象・定員: 小学4年生以上 25名(要申込/参加無料)

3. 館外講座

①「三島のサイダーびんを見に行こう!」

日時: 10月29日(土)14時00分～

協力: 八戸製氷冷蔵株式会社

対象・定員: 親子ほか 12名(要申込/参加費200円)

②「ガラスびんの“その後”を見に行こう!」

日時: 11月2日(水)13時30分～

協力: 八戸リサイクルプラザ

対象・定員: 一般 20名(要申込/参加無料)

4. 特別展ギャラリートーク

日時: 10月8日(土)・11月19日(土) 各日10時00分～、14時00分～

対象・定員: どなたでも 10名程度(申込不要/入館料別途)

【展示協力】 内藤記念くすり博物館、弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター、岩手県立博物館、青森県立郷土館、盛岡市遺跡の学び館、つがる市教育委員会、八戸市埋蔵文化財センター一川縄文館、八戸市南郷歴史民俗資料館、八戸市立図書館、八戸ポータルミュージアム、八戸リサイクルプラザ、八戸製氷冷蔵株式会社、石橋ガラス工房

【掲載写真】①ウランガラスのポマードびん(細谷地遺跡出土/盛岡市遺跡の学び館蔵) ②金平糖びん(細谷地遺跡出土/盛岡市遺跡の学び館蔵) ③助産道具(昭和/岩手県立博物館蔵) ④哺乳びん(昭和/当館蔵) ⑤五霊水目薬びん(八戸城跡出土/当館蔵) ⑥牛乳びん(八戸城跡出土/当館蔵)

八戸市博物館

青森県八戸市大字根城字東構35-1

電話:0178-44-8111 FAX:0178-24-4557

開館時間: 9時～17時(最終入館16時30分)

入館料: 一般300円・高大150円・小中50円

*市内小中学生は無料 *市内在住65才以上は半額

*障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額



①



②



③



④



⑤

⑥